

加賀温泉駅前における「加賀市SDGs防災エコタウン」モデル事業

○応募事業： 自立・分散エネ【計画策定】

○事業実施地：加賀温泉駅周辺エリア

○代表事業者：加賀市総合サービス株式会社

○共同事業者：石川県加賀市

○地域課題

- ①石川県の金沢以南で唯一の消滅可能性都市：未来につながる新たなビジネスと財源の確保が地域維持に必須。
- ②再生可能エネルギーの導入に遅れ：昨年度から「加賀市版RE100」を世界首長誓約と共に打ち出し。
- ③レジリエンス：新幹線の停車駅候補である加賀温泉駅の周辺エリアは、観光、医療、消防、警察の中心。

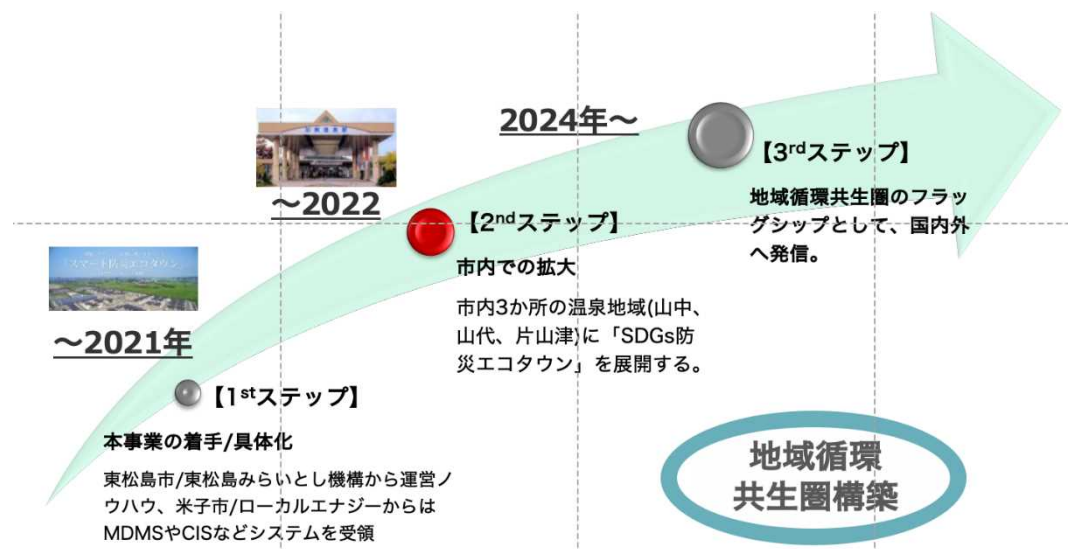
○本事業を活用した地域課題の解決方策

- ①地域内経済循環に寄与し、面的防災に寄与する「特定送配電事業」を実施。地域内経済循環と雇用を生む。
- ②最大限の地域資本で、再生可能エネルギー(風力発電および太陽光を予定)を導入し、RE100エリアを創成。
- ③地中化を前提としたマイクログリッドと分散エネルギーとEVを設置し、地域のエネルギー防災力を高める。

○目指す地域循環共生圏のイメージ

(段階的拡大)

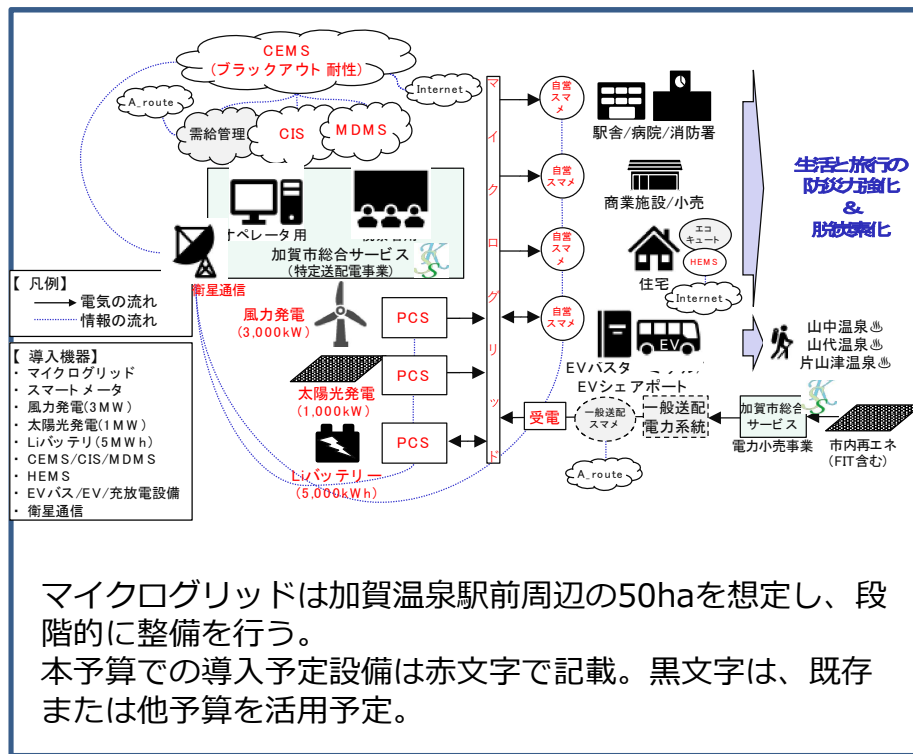
- ・ 1st：東松島市/東松島みらいとし機構より特定送配電事業のノウハウを、米子市/ローカルエナジーよりシステムノウハウを得て具体化する。
- ・ 2nd：市内にてSDGs防災エコタウンを水平展開する。また、米子市、東松島市には当該プロジェクトでのノウハウを逆輸出し、地域循環共生圏のエリアと拡大に寄与する。
- ・ 3rd：地域循環共生圏のフラッグシップとして、加賀市を全国へまた海外へ発信する。



○事業概要

- 新幹線の停車駅候補である加賀温泉駅の周辺エリア50haを災害に強いRE100エリアにする。
- 需要量と同量の発電を行う太陽光と風力をマイクログリッドに接続し、病院や消防署、交通拠点で消費。
- 大型蓄電池やEVバス、EVなどを通じ需給を調整するとともに、モビリティもエコ化する。
- 計画策定では、加賀市総合サービス（株）からコンサル会社へ発注し、ベンダーフリーでメーカーヒアリング等を行う。構築実施では、加賀市総合サービス（株）が設備投資し、一部を市に寄付。発注は機器毎に分離発注を想定。（あくまで1案）
- 地域循環共生圏の構築に向け、ローカルエナジー(株)(米子市)の技術と、(一社)東松島みらいとし機構(東松島市)の運営ノウハウを活用して設備導入し、その後、各地域に逆輸出し共生圏を広げる。
- 市民と旅行者に、エコと地域循環の重要性を示し、SDGsや地域循環共生圏のフラッグシップとしたい。

○導入予定の設備等のイメージ



○事業の実施体制

